

# 有害プランクトン情報 (令和6年度 - No. 6)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所・生産技術研究室  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によって、魚類の死亡や二枚貝の毒化を引き起こすことがあるため、毎月、有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 9月 第1回 内湾 (8地点) 9/5 内房 (7地点) 9/6  
9月 第2回 内湾 (8地点) 9/18 内房 (7地点) 9/17  
貝類漁場内 木更津北部地区 9/10 富津地区 9/17

## 東京湾(内湾)

### 【有害プランクトンの出現状況】

- 8/23に発出したシャットネラ属に関する警報 (R6No.1-1) は、9/17, 18の調査で警戒及び注意を必要とする基準を下回っていたため、9/24に警報を解除しました。
  - ・9/5 (沖合漁場) 船橋, 富津を除く内湾全域 最高密度は盤洲北の29.67細胞/mL
  - ・9/11 (沖合漁場) 内湾全域 最高密度はアクア北の1.44細胞/mL
  - ・9/18 (沖合漁場) アクア北, アクア南, 盤洲北 最高密度はアクア南の0.45細胞/mL
- 県環境研究センターによる調査で、カレニア属が注意を必要とする基準 (100細胞/mL) を上回る密度で確認され、水産総合研究センターによる調査でも確認されたため、9/30に注意報 (R6No.1-1) を発出しました。内湾・内房の全域で注意を必要とする基準を下回るまで、調査を継続します。
  - ・9/26 県環境研究センターによる調査 (沖合漁場) 浦安沖, 内湾中央, 羽田沖, アクア風の塔 最大密度はアクア風の塔の842細胞/mL
- 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH8.5 以上, 酸素飽和度 150%以上, クロロフィル a 50 µg/L 以上) は、9/5の盤洲北や盤洲南で見られました。

### 【貝毒原因プランクトンの出現状況】

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
  - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
  - 沖合漁場および貝類漁場内でディノフィシス アキュミナータが確認されました。9/18の沖合漁場の千葉灯標でやや高い密度でした。
    - ・9/5 (沖合漁場) 船橋を除く内湾全域 最高密度はアクア北の0.58細胞/mL
    - ・9/10 (貝類漁場) 木更津北部地区 密度は0.20細胞/mL
    - ・9/18 (沖合漁場) 羽田沖を除く内湾全域 最高密度は千葉灯標の2.05細胞/mL
  - 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
    - ・9/5 (沖合漁場) 富津, アクア北, 盤洲北 最大密度は富津の0.10細胞/mL
    - ・9/18 (沖合漁場) 千葉灯標 密度は0.05細胞/mL
  - 沖合漁場でディノフィシス コウダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。
    - ・9/5 (沖合漁場) 船橋と羽田沖を除く内湾全域 最大密度はアクア南, アクア北の0.17細胞/mL
    - ・9/18 (沖合漁場) 内湾全域 最高密度はアクア南0.50細胞/mL
- 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。  
(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

## 東京湾(内房)

### 【有害プランクトンの出現状況】

- 8/23に発出したシャットネラ属に関する警報 (R6No.1-1) は、9/17, 18の調査で警戒及び注意を必要とする

る基準を下回っていたため、9/24に警報を解除しました。

・9/6 (沖合漁場) 内房全域 最高密度は富津南の16.69 細胞/mL

・9/17 (沖合漁場) 浦賀水道 密度は0.10 細胞/mL

- 県環境研究センターによる調査で、カレニア属が注意を必要とする基準(100 細胞/mL)を上回る密度で確認され、水産総合研究センターによる調査でも確認されたため、9/30に注意報(R6No.1-1)を発出しました。内湾・内房の全域で注意を必要とする基準を下回るまで、調査を続けます。

・9/30 水産総合研究センターによる調査 (沖合漁場) 大貫漁港 密度は129 細胞/mL

- 赤潮はみられませんでした。

### 【貝毒原因プランクトンの出現状況】

#### 1 麻痺性貝毒原因プランクトン

- 確認されませんでした。

#### 2 下痢性貝毒原因プランクトン

- 沖合漁場でディノフィシス アキュミナータが確認されました。9/17の沖合漁場の浦賀水道でやや高い密度でした。

・9/6 (沖合漁場) 大貫、保田を除く内房海域全域 最高密度は富津南の0.31 細胞/mL

・9/17 (沖合漁場) 富津南、大貫、浦賀水道、保田 最高密度は浦賀水道の1.10 細胞/mL

- 沖合漁場でディノフィシス ロツンダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。

・9/6 (沖合漁場) 富津南 密度は0.06 細胞/mL

・9/17 (沖合漁場) 大貫 密度は0.05 細胞/mL

- 沖合漁場でディノフィシス コウダータが確認されました。低密度ですが、注視が必要です。

・9/6 (沖合漁場) 大貫、保田を除く内房海域全域 最高密度は富津南の0.44 細胞/mL

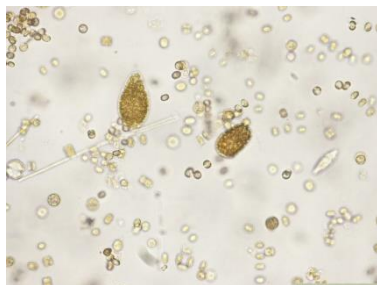
・9/17 (沖合漁場) 富津南、浦賀水道 最高密度は浦賀水道の0.20 細胞/mL

#### 3 麻痺性・下痢性ともに貝毒の被害情報はありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

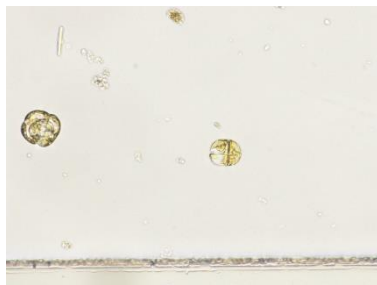
### ○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

9/5	内湾	珪藻 スケレトネマ属, タラシオネマ属 ラフィド藻 シャットネラ属
9/6	内房	珪藻 スケレトネマ属, ラフィド藻 シャットネラ属
9/17	内房	珪藻 レプトシリンダラス ダニカス
9/18	内湾	渦鞭毛藻 スクリップシエラ属, 珪藻 レプトシリンダラス ダニカス
9/30	内房	渦鞭毛藻 カレニア属



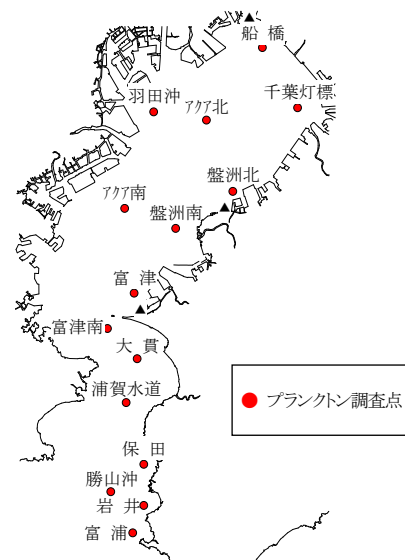
スケレトネマ属, シャットネラ マリーナなど

(9/5 盤洲北)



カレニア ミキモトイ

(9/30 大貫漁港)



● プランクトン調査点

調査点 (沖合漁場)

連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp